

## 第4回 伊勢「神宮奉納弓道大会」実施要項（案）

### 1 大会開催の趣旨

伊勢の神宮弓道場は、昭和38年創設以来、全日本弓道選手権大会（天皇盃・皇后盃）・全日本学生弓道王座決定戦・全日本実業団弓道大会など、弓道の最高峰の大会会場として、幾多の歴史を刻んできた。

本大会は、神宮弓道場の的前に立ち、弓道技能の向上と弓友相互の親睦を図り、弓道の発展に寄与することを目的とする。

2 主催 伊勢神宮崇敬会

3 後援 神宮司廳  
\*申請中含む 公益財団法人全日本弓道連盟  
三重県弓道連盟  
伊勢商工会議所  
伊勢市観光協会  
伊勢市  
伊勢市教育委員会  
伊勢志摩観光コンベンション機構

5 主管 神宮奉納弓道大会実行委員会

6 期日 令和4年 7月8日（金）～7月9日（土）

7 会場 神宮弓道場 三重県伊勢市宇治中之切町152-1  
電話 0596-24-7162（伊勢神宮崇敬会）

8 競技種目 近的競技

9 競技種類 個人競技

10 競技種別 有段者の部・称号受有者の部

11 競技内容 予選（奉射）：的中制（坐射・直径36cm霞的）  
決勝：的中制（坐射・直径24cm星的）

12 競技日程

7月 8日（金）		
受付	10:00～14:00	神宮会館（1階ロビー）
公開練習	10:00～14:00	神宮弓道場（近的場）
神宮参拝・神楽奉納	15:00～16:30	神宮神楽殿・神宮正殿
開会式	17:30～17:50	神宮会館（講堂）
夕食	18:00～19:30	神宮会館ラウンジ（4階）
7月 9日（土）		
早朝参拝（希望者）	6:00～	神宮会館前集合
矢 渡	9:00～	神宮弓道場（近的場）
予選（奉射）・決勝	9:30～	神宮弓道場（近的場）
決勝（競射）	13:00～	神宮弓道場（近的場）
閉会式（表彰式）	14:30～	神宮弓道場（近的場）

13 競技方法

- 予選は、各種別とも奉射（一手・坐射）を行う。
- 奉射は、4人立2射場「審査における行射の要領」にて行う。
- 決勝は、奉射皆中者による射詰競射（直径24cm星的）にて優勝を決める。的中を逸した場合は、優勝決定以外は遠近競射（直径36cm霞的）にて順位を決定する。

14 表彰等

- 各種別、優勝～5位に賞状・優勝楯・賞品を授与する。
- 参加者全員に記念品を贈呈する。

- 1 5 参加資格 (1) 初段以上の有段者および称号受有者。  
\*大会の参加種別は、参加申込時のものとする。  
(2) 各都道府県弓道連盟（地連）に加盟する一般会員であること。  
(3) 本大会は、大会役員および競技役員も参加できる。
- 1 6 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに大会実施要項による。
- 1 7 参加申込 (1) 別紙「参加申込書（4人まで記載可）」に必要事項を記入し、メールにて次のアドレス宛、提出する。  
「jingu\_honotaikai@yahoo.co.jp」  
(2) メールのはじめの件名は「【代表者名を入力】奉納大会参加申込」とすること。  
(3) 締切り 令和4年5月31日（火）送信分までとする。
- 1 8 参加人数 有段者の部・称号者の部を合わせて120人程度とする。  
\*申込多数の場合は、主催者による抽選で決定する。  
(抽選は、「参加申込書」単位で行う)  
\*抽選結果等は、参加申込書記載の代表者メールアドレス宛に連絡する。  
(アドレスの入力誤り等による不着に対する苦情等は受け付けない)  
\*参加決定者は、返信メールに記載の期日までに参加費等を振り込むこと。
- 1 9 参加費 19,000円  
\*大会参加費・神楽料・神宮会館宿泊費（夕食・朝食・昼食9日の分付）  
・施設使用料等のすべてを含む  
\*振込先は、参加決定の返信メールに記載する。  
\*参加費等振込後の返金は行わない。
- 2 0 その他 (1) 大会での服装は、和服または弓道着とし、受付で配付するゼッケンを右腰前に付けること。（和服の場合は、本座にて肌脱ぎ・襷がけを行う）  
(2) 参加者および大会役員は、大会前日に神宮参拝（御垣内）・神楽奉納を行う。  
\*神宮参拝時の服装について  
(男性) スーツ・ブレザー（ネクタイ着用）、和服（羽織・袴着用）  
(女性) スーツ・ブレザー（シャツは一般的なブラウス、ネクタイ不要）  
和服（格は問わないが浴衣は不可、羽織・袴の着用不要）  
\*弓道着では御垣内に入れませんので、外からの参拝となります。  
(3) 問い合わせは、大会実行委員会事務局まで  
【大会事務局】 〒516-0003 三重県伊勢市下野町62-3  
浦野 雄二  
携帯電話 090-5101-3964  
メール yuji\_kyudo@yahoo.co.jp
- 2 1 注意事項 (1) 神宮会館の駐車台数に限りがあるため、乗り合わせか、できる限り公共交通機関を利用のこと。  
(2) 受付は、必ず本人が行なうこと。  
(3) 開会式には、原則として全員参加すること。  
(4) 第3控で不在の場合は、棄権とみなす。  
(5) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。  
(6) 参加者は、健康保険証を持参のこと。
- 2 2 映像等の取り扱いについて  
個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。  
権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して撮影・配信等を中止すること。  
なお、申込書の提出により、次の関係資料の取り扱いの旨、承諾を得たものとする。  
(1) 大会プログラムならびに関係書類への記載（名前、所属地連、称号・段位）  
(2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載（名前、所属地連、称号・段位、写真、動画）  
(3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

参加者の皆様へ 補足説明資料

1 参加資格について

- (1) 初段以上の有段者および称号受有者とします。
- (2) 各地連に所属の一般社会人とします。
- (3) 高校生以上の一般会員（部活に所属していない）については、保護者同伴であれば、参加を認めます。保護者の認める引率者との参加も認めます。

\*広く交流・研鑽の場としたいため幅広く参加を募ります。

2 参加人数について

- (1) 有段者の部・称号者の部を合わせて**120人程度**とします。  
\*現在、伊勢神宮の神楽殿収容人数制限が、120人となっておりこれを上限とします。  
\*感染予防として「宿泊の蜜」・「会場の蜜」を避ける対策を講じています。
- (2) 応募多数の場合は、抽選とします。  
\*抽選は、実行委員会で行います。結果は、抽選後に申し込みメール宛に通知します。

3 参加費について

- (1) 19,000円については、【参加費・神楽料・神宮会館宿泊費（夕食・朝食・昼食（10日含む）・施設使用料）のすべてを含んでいます。

4 宿泊・駐車場について

- (1) 神楽奉納・神宮参拝（御垣内正式参拝）や早朝参拝などを行いますので、神宮会館の宿泊施設を利用しての、大会となります。
- (2) 宿泊予約は、実行委員会で行います。
- (3) **神宮会館での宿泊は、感染予防のため家族・申し込みグループごと2～4人程度の相部屋になります。**
- (4) 宿泊の部屋割りは、実行委員会で行います。
- (5) 神宮会館の駐車場台数に限りがありますので、乗り合わせか、できる限り公共機関をご利用ください。

5 神楽奉納・御垣内参拝について

- (1) 参加者は、7月8日（金）午後3時から神宮神楽殿で神楽奉納の後に、内宮正殿にて、御垣内正式参拝を行います。
- (2) 神宮参拝時の服装は、スーツ・ブレザー（男性はネクタイ着用）または和服（男性は羽織+袴）とします。  
女性は、男性の服装に準じてください。（女性の羽織と袴はいりません）  
\*弓道着や軽装の方は、御垣内に入れません。（正殿外からの参拝となります）

6 その他

- (1) 大会期間中の神宮会館施設は、大会関係者のみの利用となり感染予防に努めます。
- (2) 前泊・後泊希望の方は、直接神宮会館に電話で申し込みしてください。  
→ 申し込み時には、「奉納弓道大会参加者」と教えてください。  
\*神宮会館 電話 0596-22-0001

問い合わせは、【大会事務局】 〒516-0003 三重県伊勢市下野町6-2-3

実行委員長 浦野 雄二

携帯電話 090-5101-3964

メール [yuji\\_kyudo@yahoo.co.jp](mailto:yuji_kyudo@yahoo.co.jp)

令和4年3月1日

参加者各位

伊勢神宮崇敬会  
神宮奉納弓道大会実行委員会

## 第4回 伊勢「神宮奉納弓道大会」のご案内

この度、第4回伊勢「神宮奉納弓道大会」を、令和4年7月8日(金)・9日(土)に、伊勢神宮弓道場において開催いたします。多くの方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。別紙「大会実施要項」をご覧ください、ご応募ください。

令和元年7月6・7日に開催いたしました第1回伊勢「神宮奉納弓道大会」は、全国から400名を超える応募をいただきました。募集定員の250名を大きく上回ったため抽選となり、大会に参加出来なかった方々には、本当に申し訳ありませんでした。

参加されました皆様方から、「神宮弓道場で弓を引けてよかった」という声を多くいただきました。また、懇親会では「全国の弓仲間と交流できて楽しかった」など、有意義な時間を過ごしていただき、本大会の趣旨を十分ご理解いただけたのではないかと思います。

令和2年の第2回・令和3年の第3回大会は、新型コロナウイルス感染拡大による「全国緊急事態宣言」発出のため、参加募集の途中で残念ながら2年連続の「中止」となりました。

令和4年の第4回大会開催にあたりましては、県外からの募集人数を120人に減らし、十分な感染対策を行い実施いたします。

(※県外募集120人・県内参加30人の150人程度の規模で実施)

伊勢神宮弓道場に刻まれた歴史と先人の研鑽の息吹を感じていただき、大会が全国弓道人交流の場として親しまれ、これからも大会が永く続くことを願っています。

\*今回も申し込みが定員を超えた場合は、抽選となりますのでご承知ください。

### 【神宮弓道場の歴史と大会開催の経緯】

伊勢神宮弓道場は、神宮・伊勢神宮崇敬会・全日本弓道連盟・各企業など多くの方々の熱意とご尽力により、全国に誇る規模と設備の整った弓道場として、昭和38年に完成いたしました。

その後「全日本弓道選手権大会(天皇盃・皇后盃)」や「全日本学生弓道王座決定戦」また、「全日本実業団弓道大会」など、数多くの全国大会が開催され、弓を志す方々の活躍の場として親しまれてきました。

また全国から企業・大学・高校の弓道部の合宿研修の場としても活用されています。

「一度は、伊勢神宮弓道場で弓を引いてみたい」という全国の弓道人の思いを受けて、神宮奉納弓道大会実行委員会を組織し、令和元年7月6・7日に第1回伊勢「神宮奉納弓道大会」開催の運びとなりました。